

# 学校名 三島村立三島硫黄島学園

項 目	活動内容等
1 活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・硫黄島学園から徒歩5分ほどの海岸には、ウミガメが産卵にやってくる。しかし、さまざまな漂着ゴミも流れ着くため、地域の方と共同して清掃活動を行っている。</li> </ul>
2 活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を始めた動機は、漂着ゴミを取り除くことにより、ウミガメが毎年訪れるような海岸を保持するため。</li> <li>・平成19年から、硫黄島の長浜湾に面する海岸の清掃活動を毎年行っている。</li> <li>・平成3年には校内にウミガメの卵のふ化場（砂場）が設置され、平成23年8月には孵化した子ガメを54匹放流している。</li> </ul>
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	海岸清掃。
③ 月間又は年間活動回数	年に2回（5月上旬，11月中旬） ウミガメが来島する時期に併せて実施している。

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	・ 硫黄島の長浜湾
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	・ 児童生徒 32 人，教職員 15 人，地域住民 20 人程度
⑥ 活動1回当たりの平均時間	・ 1 時間～2 時間
⑦ 収集ごみの処分	・ 島内のゴミ収集施設へ運ぶものと，大きな袋に詰めておき，業者に引き取ってもらうものに分けている。
(2) 活動の独創性 活動の特徴	・ 硫黄島漁協や地区の皆さんに声をかけ，島民全員の活動としていること。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	・ ウミガメの産卵が見られること。
② 地域住民との協力活動	・ 地域住民への声かけにより，島民全体の取組になる年もある。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 島の自然を守ってくれることへの感謝の声を聴くことがある。</li> <li>・ 自然を守る心を育てている。</li> </ul>

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SDGs の考え方をもちながらゴミを拾うことや、さまざまなゴミの分別について考えて行動するように事前指導を行っている。</li> </ul>
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミをよく拾うだけでなく、通常の作業でも隅々までほこりをとり、拭き掃除を行うようになった。</li> </ul>
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3・4年生による、ごみ処理場の調べ学習において、島内の処理場に出向いて、職員に話を聞いたり発表としてまとめたりしている。</li> </ul>
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合的な学習の時間及び、土曜日の保護者会活動として行っている。</li> </ul>
3 その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特にありません。</li> </ul>

## 海岸清掃について

### 1 ねらい

- (1) 身近な環境の清掃活動を通して環境保全への意識を高め、環境保全への実践意欲を育てる。
- (2) 精一杯働く活動を通して勤労の喜びや意欲を向上させる。

### 2 日時 5月13日(土) 2・3校時 9:35~11:25

(雨天時:15日(月)の2・3校時と入れ替え) ※高波の場合は地区内のゴミ拾いに変更

### 3 場所 清掃活動 長浜海岸(三島開発センター下)

### 4 参加者 児童生徒、全職員(保護者・地域への島内放送による呼びかけ)

### 5 日程

9:35 着替え、帰る準備をすませ階段下に集合、海岸へ移動

9:45 荷物をセンターに置き、俊寛像前に集合、整列

活動についての説明(児童生徒会長)

・目的・作業場所・作業内容・作業時の注意事項・ごみの分別について  
担当の先生の話

9:55 清掃開始(途中休憩を入れる)

11:10 作業の終了(俊寛像前に集合)

振り返り(児童生徒会副会長)

校長先生の話

11:25 学級ごとに帰りの会(現地解散、下校)

### 6 準備、係分担

(1) 司会・渉外(郷土教育担当)

(2) ごみ処理(地区清掃担当者)と(漁協組合)と検討

(3) 海岸清掃実施について島内放送(ゴミ収集日の日程変更を確認し、同時に放送する)  
(広報・掲示) ※児童生徒による放送

### 7 事前指導

(1) 海岸清掃では特に安全第一で無理をせず、危険なものには触らずに大人に知らせる

(2) 環境保全の大切さ、勤労の喜びを分かち合うことの指導

### 8 事後指導

ごみの分別の仕方や自然にかえらないゴミもあることなどについて担任が説明する。  
また、今後の学校生活で継続的な指導に努める。(日常のボランティア活動、清掃活動の指導)

### 9 その他

・ 児童は体育服・長ズボン、生徒は体育服・ジャージで登校する。

・ 児童生徒、職員とも帽子、軍手(手袋)、長靴、汚れてもよい服装(作業着)で海岸清掃を行う。

・ 児童生徒は水筒を持参する。

・ 割れたビンや重量物・危険物などの漂着ゴミがあります。ケガをしないように気を付ける。

※ 救急箱の準備

## 資料2 清掃の様子（写真）

### （1）令和4年度の様子（5月）

令和3年度より多くの島民が参加してくださり、美しい海岸にすることができた。



仕分ける



多くの方に来ていただいた



地域の方からのお話を聞く



海藻の打ち上げも多かった



協力して運ぶ様子



最後に記念撮影

### （2）令和5年度の様子（5月）

令和4年度と同様多くの参加があり、活気があった。美しい海岸にすることができた。



学校と地域の連携がうまくいっている。子供たちが声をかけあって分別していく



前期生と後期生が協力する様子が見られる。また、大人と子供のコミュニケーションの場にもなる。